

特集

地域の「困った」を解決！ 西方地区 郷援隊の皆さまに聴きました

「皆さんの笑顔が活力です」

〈郷援隊を始めるきっかけは？平成24年の西方川の草刈りからと聞いていますが〉

・西方地区には西方川が流れていて、毎年奉仕活動があります。夏の暑い時期に、130台くらい草刈り機を出して行いますが、堀



東遠学園での剪定作業

市民と議会をつなぐ特集ページです。今回は、西方地区を中心に、河川の草刈りや時には個人宅の庭木の剪定まで、幅広く活動されている郷援隊の皆さまに、その活動や思いを伺いました。

らかな。週に2回、半日ほど活動しています。

・作業の予定は、予定表を作って配ることもありますが、拠点の作業場にホワイトボードが置いてあって、そこに書いています。

〈どんな方から依頼がありますか。差し支えなければ依頼内容も教えてください〉

・多いのは高齢で男手が無い家庭からの依頼でしょうか。郷援隊のことは口コミで広がっているようで、他にも裏山を背負っている家庭からの依頼や耕作放棄地、田んぼの整備なども頼まれます。

・今日は東遠学園にきましたが、社会福祉協議会経由でも依頼が入ります。ケアマネジャーからの話も多いですよ。遠い時には御前崎まで作業に行きました。

〈どんな時にやりがいを感じますか〉

・やっぱり、少しでも地域の役に立っているなと感じたときは良いですね。口コミで依頼が来るって事はある程度組織を認めてく

田地区は割り当てが約2キロの両岸と相当長く、班によっては男性が出られず、女性ばかりになる所もありました。その状況を見て、当時の自治会長が「少しでも負担が軽くなるように」と、事前に一人で土手の草刈りをしてくれていたんです。その姿に感じるものがあり、自治会を応援する組織があると良いなと思いました。それがきっかけです。

・堀田にはお寺や裏山に歴史的な場所もあり、近くのごども園の園児たちが散策することもあります。まずはその草刈りや、緑化整備をしようと有志を募ってスタートしました。

〈いつも何人ほどで活動されていますか〉

・発足当時メンバーは16名でした。メンバーの入れ替えも少しありましたが、そのくらいで動いています。その日都合がつくメンバーで活動するので、多く出てきて13名く